

転職希望者が求める情報、企業側の認識との間にギャップ。 求職者は「仕事内容」重視、企業は「給与」重視と考える傾向【20代転職意識調査】

株式会社学情（本社：東京都中央区）は、20代の仕事観や働く意識をひも解くため、転職希望者が重視する情報についてインターネットアンケートを実施、企業にも同じ質問をして認識に差がないか探りました。20代転職希望者が求人情報で重視する情報については、求職者・企業とも「業種・職種・仕事内容」が最多で共通していました。面接・選考過程で志望度が高まる情報は、求職者は「仕事内容」「休み」「給与」がトップ3だったのに対し、企業側は「会社の雰囲気・職場環境、メンバーの人柄」といった社風、「入社後のキャリアイメージ、キャリアビジョン」「給与」の順。入社先を決める際の情報では、求職者は「仕事内容」「休み」「給与」、企業側は「給与」「仕事内容」「社風」の順で、両者の認識が大きく食い違っています。20代の転職理由は「給与」が多い傾向はあるものの、求職者はどの段階でも「仕事内容」の情報を最重視して企業選びをしていることが分かりました。企業側は求職者が「給与」を重視していると考え、傾向が強く、「仕事内容を知りたい求職者」と「給与や社風を伝えようとする企業」というギャップの存在が浮かび上がりました。

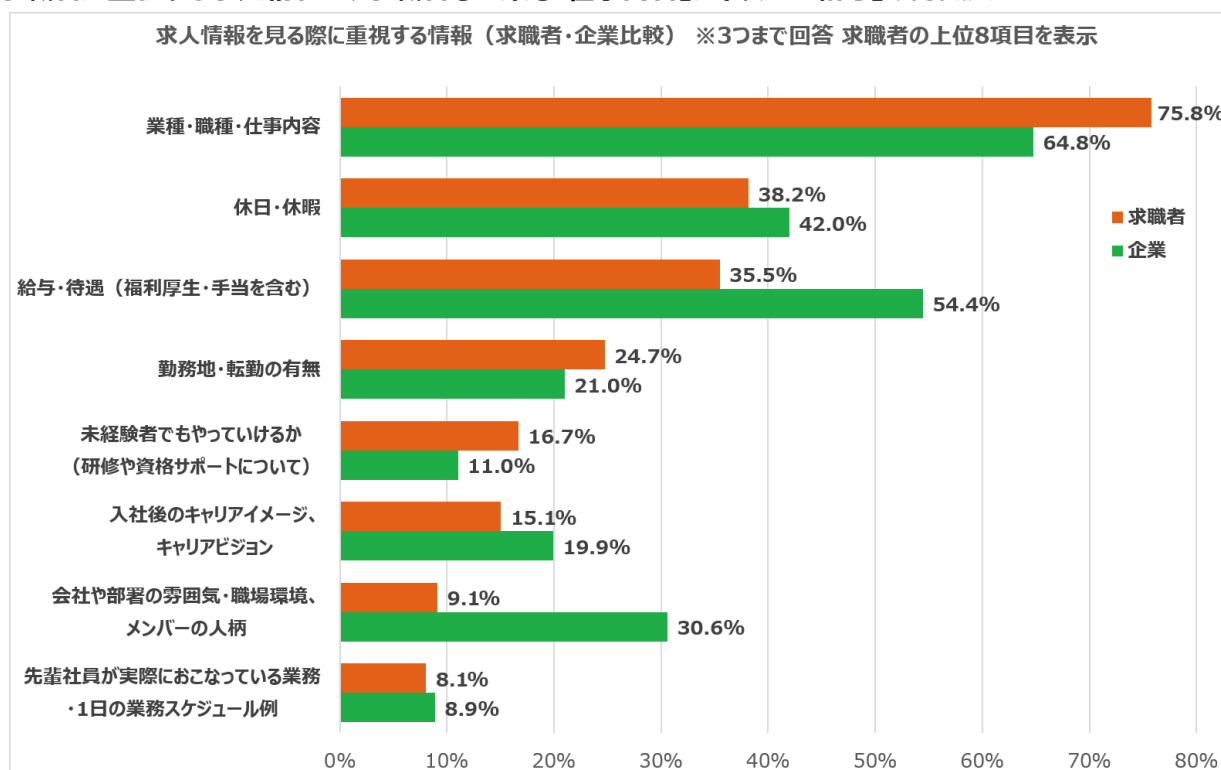
【TOPICS】

- (1) 求職者が重視する求人情報は、求職者も企業も「仕事内容」がトップ「給与」の認識に違い
- (2) 選考過程で重視する情報、求職者は「仕事内容」「休み」、企業は「社風」「キャリア」で大きく食い違う
- (3) 求職者が入社先を決める際に最重視するのも「仕事内容」、企業は「給与」で食い違い

【調査の背景】

戦後長く続いてきた日本型雇用システムのひとつである終身雇用の前提が崩れ、転職が当たり前になる中、若年層の転職者比率は他の年代と比べて高い傾向が続いています。20代の転職に対する意識やキャリア形成の考え方の変化を把握するため、「転職意識調査」を実施。同時に企業にも、転職者の意識をどう捉えているのか調査しました。

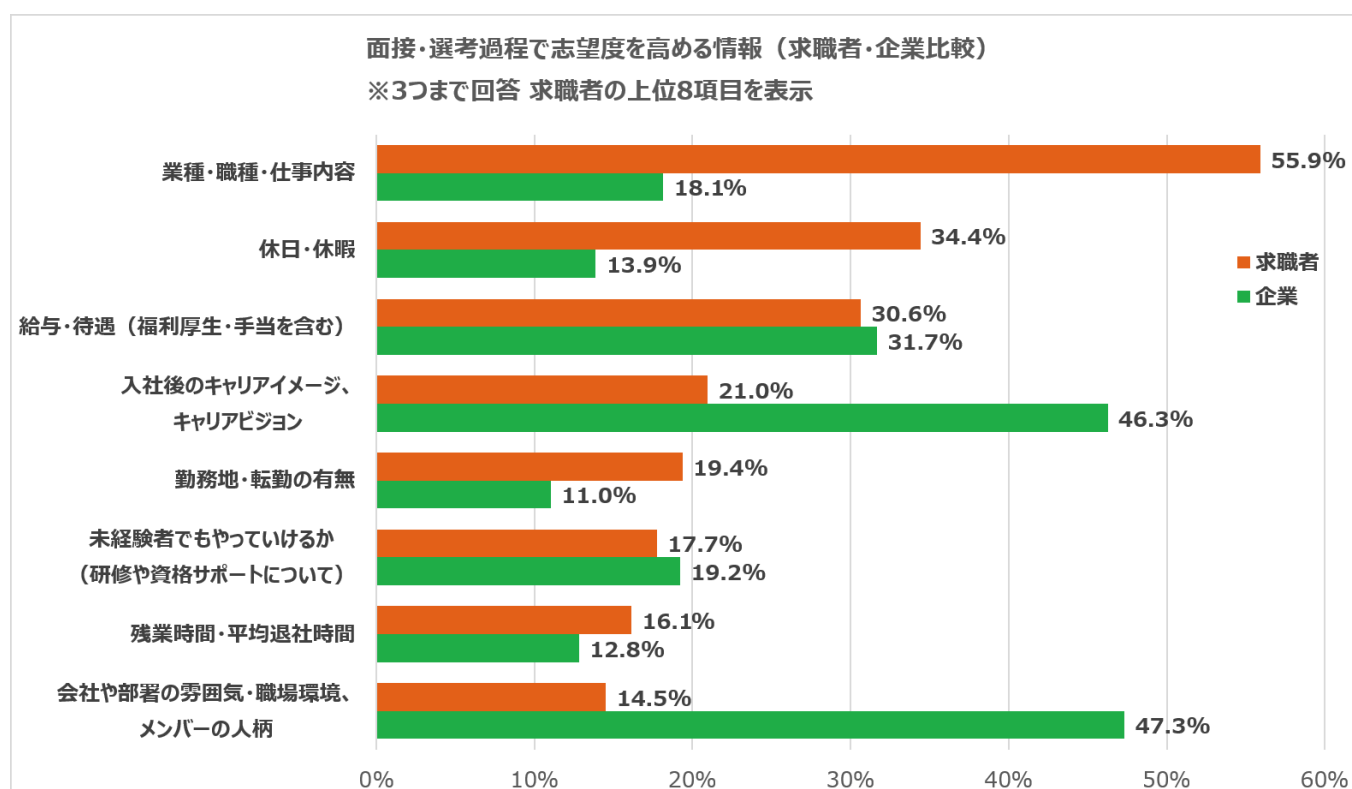
(1) 求職者が重視する求人情報は、求職者も企業も「仕事内容」がトップ「給与」の認識に違い



20 代の転職希望者に、求人情報を見る際に重視する情報は何かを尋ねたところ（3 つまで回答）、「業種・職種・仕事内容」75.8%が突出し、4 人に 3 人が重視していることが分かりました。次いで「休日・休暇」38.2%、「給与・待遇（福利厚生・手当を含む）」35.5%が続きます。企業にも、求職者がどのような情報を重視していると思うかを聞いたところ（同）、1 位は「業種・職種・仕事内容」64.8%で同じでしたが、2 位「給与・待遇」54.4%、3 位「休日・休暇」42.0%の順で、求職者とは 2 位と 3 位が入れ替わりました。

「給与・待遇」は 20 ポイント近い差があり、求職者の意識と企業側の認識の違いが大きいことが分かります。「会社や部署の雰囲気・職場環境、メンバーの人柄」も、求職者 9.1%に対し、企業は 30.6%と開きが目立ちます。求人情報を見る段階では、求職者は給与や社風について企業が考えるほどには重きを置いていないようです。

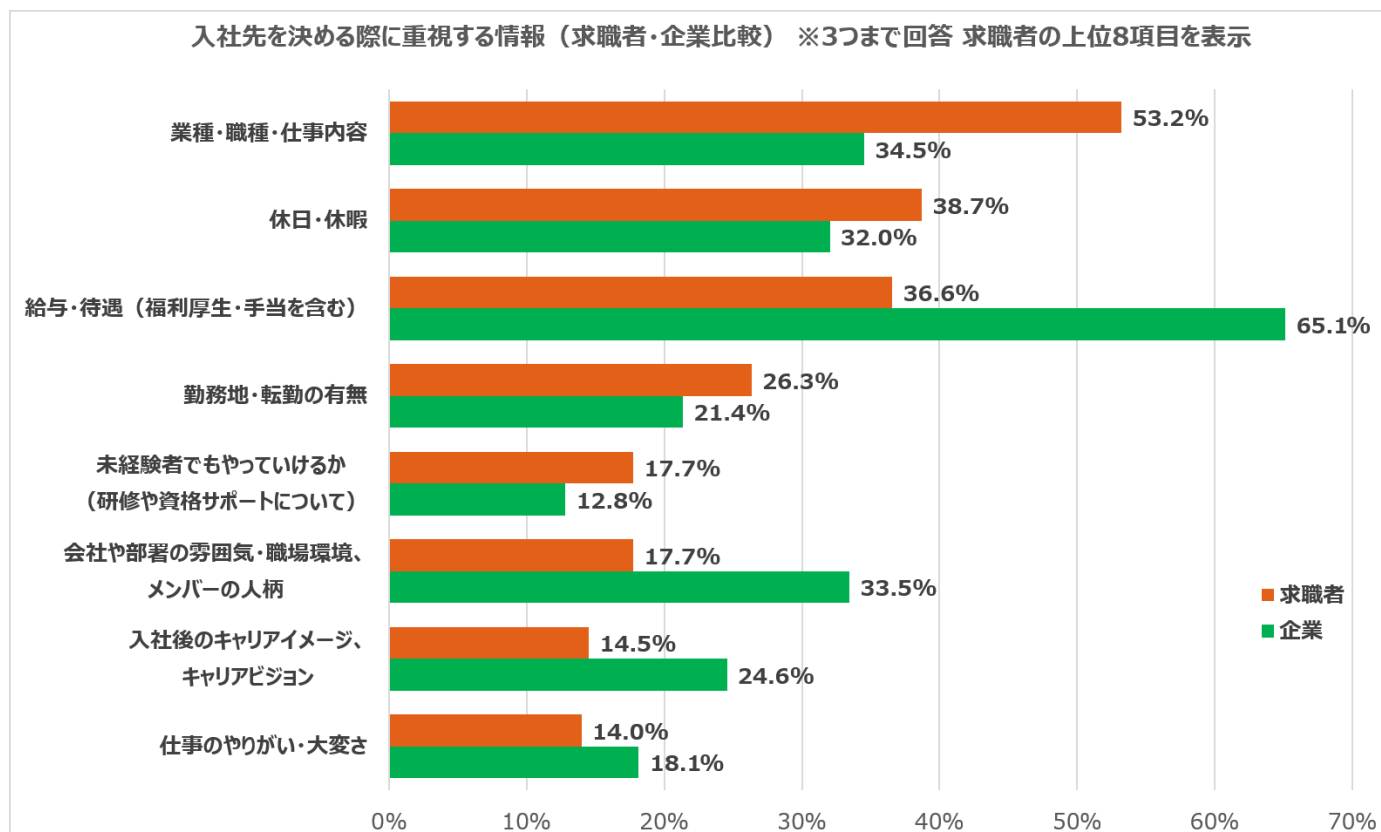
（2）選考過程で重視する情報、求職者は「仕事内容」「休み」、企業は「社風」「キャリア」で大きく食い違う



20 代求職者に面接・選考過程で志望度が高まる情報は何かを聞くと（3 つまで回答）、「業種・職種・仕事内容」55.9%、「休日・休暇」34.4%、「給与・待遇（福利厚生・手当を含む）」30.6%がトップ 3 でした。一方、企業に求職者が選考過程で志望度を高める情報についての認識を問うと（同）、「会社や部署の雰囲気・職場環境、メンバーの人柄」といった社風 47.3%、「入社後のキャリアイメージ、キャリアビジョン」46.3%、「給与・待遇」31.7%の順でした。

求職者のトップ 2 「仕事内容」「休み」と、企業のトップ 2 「社風」「キャリア」の選択肢は、それぞれ両者の数値に大きな隔たりがみられました。選考過程では、求職者が仕事内容と待遇の情報を重視しているのに対し、企業側は社風やキャリアイメージに重きを置いており、企業は求職者が求める情報を届けられていない可能性が高いと言えます。

(3) 求職者が入社先を決める際に最重視するのも「仕事内容」、企業は「給与」で食い違い



20 代求職者が入社先を決める際に重視する情報（3つまで回答）は、「業種・職種・仕事内容」53.2%がトップで、「休日・休暇」38.7%、「給与・待遇（福利厚生・手当を含む）」36.6%が続きました。企業にも求職者が重視する情報は何かと思うかを聞くと（同）、「給与・待遇」65.1%が断トツのトップで、「業種・職種・仕事内容」34.5%、「会社や部署の雰囲気・職場環境、メンバーの人柄」33.5%の順でした。

入社先を決める際の情報でも、求職者が「仕事内容」を最重視しているのに対し、「給与」と考えている企業が圧倒的に多く、食い違いが明らかになりました。

■調査概要

- ・調査対象：20 代就職・転職希望者（20 代専門転職サイト「Re就活」のサイト来訪者）および全国の企業・団体
- ・調査期間：求職者 2026 年 8 月 6 日～同年 8 月 23 日、企業・団体 2026 年 8 月 3 日～同年 8 月 14 日
- ・有効回答数：求職者 186 件、企業・団体 281 件
- ・調査機関：株式会社学情
- ・調査方法：Web 上でのアンケート調査

※各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式回答の合計が 100.0%にならない場合があります。

■株式会社学情とは

東証プライム上場・経団連加盟企業。2004 年から、「20 代通年採用」を提唱。会員数 280 万人の「（20 代が選ぶ）20 代向け転職サイト 7 年連続 No.1・20 代専門転職サイト〈Re就活〉」（2019 年～2025 年 東京商工リサーチ調査 20 代向け転職サイト 第 1 位）や「30 代向けダイレクトリクルーティングサービス〈Re就活 30〉」、会員数 60 万人の「スカウト型就職サイト〈Re就活キャンパス〉」を軸に、20 代・

30 代の採用をトータルにサポートする大手就職・転職情報会社です。

また日本で初めて「合同企業セミナー」を開催し（自社調べ）、「転職博」や「就職博」など、若手人材の採用に関する多様なサービスを展開しています。

〔創業／1976 年 資本金／15 億円 加盟団体／一般社団法人 日本経済団体連合会、公益社団法人 全国求人情報協会、一般社団法人 日本人材紹介事業協会、日本就職情報出版懇話会、公益財団法人 森林文化協会〕

<https://company.gakujo.ne.jp>

■お問い合わせ先

株式会社学情 広報担当

東京都中央区銀座 6-10-1 GINZA SIX 9 階

TEL：03-6775-4510 FAX：03-6263-9033

メール：press@gakujo.ne.jp

コーポレートサイト：<https://company.gakujo.ne.jp/>

株式会社学情のプレスリリース一覧：https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/13485